

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名	サンクエールの森	公表日	2026年2月6日
------	----------	-----	-----------

利用児童数 13

回収数 12

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11			1		法令に定められた職員数に加えて、看護職員を1名配置しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12					
保 護 者 へ の 説 明 等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	3		6		現在、地域の方との交流は、少ないですが、今後も交流できるようにいたします。また、その時に事故等が起こらないように利用者様の配慮いたします。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12					
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	12					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11			1		定期的な面談等はありませんが、適宜、ご相談は承りますし、面談の機会も設けたいと思います。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	11			1		今年度は、家族会を開催いたしました。その中でご家族様同士の交流が持てる機会を設けました。今後は、参加しやすいように検討してまいります。

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12					
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	12					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10			2		定期的に避難訓練を行っているところです。実施の状況などをホームページ等でお知らせしていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7			5		定期的に避難訓練を行っていますが、保護者様への周知ができていないので、ホームページやInstagramでお知らせいたします。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11			1		安全計画を作成して、それをもとに利用者様の安全を確保しているところです。ご理解いただけるよう丁寧に説明をさせていただきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11			1		こちらで体調不良等になった時には、連絡をさせていただいております。お迎えに来ていただくことになり、お手数をおかけしております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	12					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	11			1		楽しみにしていただけるよう努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	12					

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		サンクエールの森	公表日				2026年2月6日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	2	長期休みのときは狭いと感じるときがある 長期休みで朝から利用者が多い場合、配置の工夫が必要。 放デイの長期休暇中はスペースが狭い	・配置の工夫をして、改善していきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	3	2	放デイの場合は入浴やおやつなど人手が足りず、生活介護のスタッフが手伝いに来てくれている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		車椅子が入ると狭く圧迫感がある。人数が多いとゆっくり休んでもらう場所がない時もあり、配置など工夫がいる。	活動内容にあったスペースの確保に努めてまいります。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	2	静養室は空調がなく、狭いため静養しづらい状況である。	必要に応じて、静養できる場所を確保していく必要がある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1	児発所属スタッフ以外も関わりを持つ機会があるため全スタッフに意見が出せる機会があってもよい	職員間で話し合いを設けて、適宜、改善をしていく必要があります。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	結果を提示するだけで業務改善への取り組みは足りてないと感じる。	話し合いがもっと必要とされると思います。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2	外部評価がしているのかどうかわからない。	現在、利用者、社内の2者の評価のみです。第三者評価を行う予定はございませんが、今後、必要に応じて検討してまいります。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	研修を開催する時間が十分とれないため、研修した内容が生かされていないように感じる。	外部研修の機会が少ないです。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		個々のプログラムが日々の支援に生かしきれいないため改善は必要。	今後、検討して改善すべきところは改善していきます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1	共有はされている。計画に沿った支援ができるように改善は必要。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1		職員が情報を把握できるように配慮が必要です。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	3	保育士さん中心に考えてもらっている。情報共有している。	検討する時間が必要です。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1		打ち合わせを行う時間を確保できるような工夫が必要。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	送迎があるため支援の振り返りができる時間が確保できていない。	その日気づいたことについては共有していますが、支援の振り返りはあまりしていないので、今後できるようにします。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	1	個人のファイルに特記事項などの詳細は記載し確認できるようにしている。	個人のファイルに特記事項などの詳細は記載し確認できるようにしています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	1		利用者様によっては偏った支援になってしまうので、4つの基本活動ができるよう配慮していきます。
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5			
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1		職員全員が把握できるように努めてまいります。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			情報が共有されるような仕組みをもつことが必要です。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1		就学前に利用していた保育所等との情報共有を進めていけるようにします。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3	わからない。	現在、助言をいただくような事案はないですが、適宜、連絡、相談を受けていただいています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	3		開催回数が少ないので、検討する必要があります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	3	わからない。	自立支援協議会への参加できていない状況ですので、積極的に参加できるようにしていきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5			

保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			運営規定が曖昧なところがあり一貫性に欠けている部分があると感じるところがあります。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	1		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5			
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			スタッフへの情報共有方法は検討が必要。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5			
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		実施しているが周知されていないと感じる。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	1	予防接種の状況までは把握できていない。	事前に把握できるように努めていきます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	指示書記載がない	医師の指示書への記載がないと思うため再確認が必要です。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	1		保護者の同意を得て、事業所全体でどのようにしていくか検討していきます。



公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	サンクエールの森			
○保護者評価実施期間	2025年11月24日 ～ 2025年12月29日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数)	12
○従業者評価実施期間	2025年11月15日 ～ 2025年12月29日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月23日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	クリニックが隣接していて、連携が取れるため安心して、ご利用いただ得けるのではないかと思います。	月1回、会議をして、クリニックとの連携を図っている。	家族との医療的なことについて相談を受けた場合、クリニックと連携して、対応できるように努める。
2	毎日、同じ職員が出勤しており、また、多職種が集まっているので、連携した関わりができる。	多職種間で意見交換ができる。	いろいろな職種の方から刺激を受けながら、成長発達に向けた日々の関わり方をスタッフ間で相談し、統一して関わりができるようにしている。
3	委員会を設置して、安全、安心の意識を高めている。	必要な研修の実施や足りない備品など、各委員会で話し合ったことを共有することができる。	各委員会で提案された事項については回覧等で共有できるようにする。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	時間に追われて、仕事に余裕がなくなることがある。	場所や人数の限界があり、焦りが出てしまうことがある。	よく話あって事業所でできることとできないことをすり合わせる。
2	開所して日がたっていないので、決まりごとがはっきりしていないことが多い。	起こった出来事をその場その場で考え対応しているため。	先を見通して定期的な話し合いをしていく。
3	忙しくバタバタしている時に忘れ物、忘れ事が多くなる。	複数の利用者さまをみていて、ケアが多いと忘れものが多くなり、また、忘れ事が発生しやすい。	みんなで声をかけて、チェック表を確認していく。